

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問い合わせ	0569-26-4888 新美南吉記念館 担当 遠山光嗣
-------	------------------------------------

令和4年4月13日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	企画展 “「一枚の葉書」は「蟹工船」のオマージュか？”
期 間	令和4年4月16日（土）～令和4年7月3日（日）
場 所	新美南吉記念館展示室
観覧料	常設展の観覧料（高校生以上 220 円）で観覧できます。
趣 旨 (目 的)	童話「一枚の葉書」がモデルにしたアイヌの逋送人吉良平治郎の殉職から今年で100年。舞台の地名はなぜ「蟹江」なのか？ 作品の謎から南吉のプロレタリア文学への関心と教育観に迫ります。
内 容	第1章 「一枚の葉書」 第2章 郵便逋送人殉職の美談 第3章 南吉とプロレタリア文学 第4章 「ヒロツタ ラツパ」と軍国美談 第5章 南吉の教育観
担当者 情熱メッセージ	童話作家、新美南吉の意外な一面が垣間見える展示会です。 謎解き感覚でご覧ください。きっと今まで知らなかった南吉と出会えますよ！
別 紙	有り（ミュージアムトークの予定、関連する南吉の日記）
写 真	新美南吉の肖像、「一枚の葉書」原稿などをご提供できます

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603



<会期中の関連行事>

ミュージアムトーク

学芸員が企画展会場で解説をします。

日時 5月4日（祝）・5日（祝）・28日（土）、6月12日（日）・25日（土）

13時30分～14時

※予約不要

<関連する南吉の日記（一部）>

河崎が『プロレタリア文学』と云う雑誌をかしてくれたので読んでみた。小林多喜二のことが一ぱいかいてある。考えを変えなくてはならぬ。在来の童謡とか童話とかをどうのこうの言っているのは、何も知らない馬鹿の様な気がする。思想的になやむとはこんな事か。（昭和8年5月27日）

教育。愛をもって冷酷に。

国民教育は先ず啓蒙であつた筈だ。今の社会に都合よく馴致された驢馬のような人間を造りあげることではなかつた筈だ。啓蒙すること、それだけで教育の使命は終るべきだ。啓蒙されたが故にそれらの人間が幸福になるか不幸になるか、そのために社会が右に行くか左にゆくか、そんなことまで考えなくともいいのである。」（昭和15年1月14日）